

鳥取県林業試験場 研究成果報告会

参加
無料

特別講演

智頭林業の魅力と課題



智頭の山人塾

やまもと ふくじゅ

塾長 山本福壽 氏

◀智頭スギの伏条更新



日 時

令和6年2月7日(水)
13:30~16:00(開場12:45)

場 所

新日本海新聞社中部本社ホール
(倉吉市上井町1丁目156番地)

研究成果報告



県産製材JAS規格材を用いた木構造に関する研究

～県内初となる実大トラス強度試験の実施～
木材利用研究室 主任研究員 森田 浩也

▲ 実大トラス試験状況

山地斜面での根の展開状況



崩壊発生源となる移動体にみる
樹木根系の特徴

森林管理研究室 上席研究員 矢部 浩

ポスター展示

当試験場の試験研究内容を紹介します ※発表内容は裏面をご覧ください。



※研究成果報告の発表は2/19より
YouTubeで期間限定で公開予定です。
詳細等は後日、試験場HP(左のQR
コード)でお知らせします。

ご来場特典！
県産材で作った
林試オリジナルコースターを
プレゼント！

※数に限りがあります。
コースターのデザインはお選びいただけません。

- JR倉吉駅から徒歩10分
- 無料駐車場あり(50台程度)

プ ロ グ ラ ム

1.開場・ポスター展示（12：45受付開始）

会場内にて各研究員の研究内容を紹介したポスターを展示します。

2.開会挨拶（13：30～13：35）

3.特別講演（13：40～14：30）

- ◆「智頭林業の魅力と課題」

4.研究成果報告（14：40～15：40）

- ◆県産製材JAS規格材を用いた木構造に関する研究（14：40～15：10）

- ◆崩壊発生源となる移動体にみる樹木根系の特徴（15：10～15：40）

5.全体質疑（15：40～15：55）

6.閉会（16：00）

ポスター展示 紹介

- ◆下刈り方法の違いでシカ食害は防げるか？
- ◆多雪地帯における食害防止クリップの効果
- ◆ナラ枯れ跡地の更新状況
- ◆再造林の推進に向けたコンテナ苗の通年植栽試験
- ◆原木シイタケにおけるシイタケオオヒロズコガ類混入の軽減について
- ◆傷に強いスギ板材が作れます！
- ◆桟木痕が残りにくい木材乾燥を目指して～桟木の材質と温湿度条件による影響～
- ◆鳥取県内に造林されたカラマツの材質と生育環境に関する調査

当日ご参加予定の皆様にお願い

開場準備にあたり、事前にご参加される人数を把握して開場準備をしたいと思います。
当日ご来場予定の方で、可能な方は恐れ入りますが参加人数を当試験場までお知らせください。ご協力をお願いいたします（締め切り1月31日 16：30まで）。

・メールまたはFAXで本紙の下記欄に必要事項を記入し、鳥取県林業試験場に送信してください。FAX：0858-85-6223 メール：ringyoshiken@pref.tottori.lg.jp

※本FAX及びメールで得られた情報は、本会の参加受付のみに使用し、本会終了後は破棄します。

ご団体名

ご氏名（代表者）

ご参加人数

名様

ご連絡先

電話番号

メールアドレス

とっとり電子申請サービスからも申し込み可能です。

